

ほのぼの苑だより

題字：菅原 作衛 様



正和会 健康まつりへ多数のご参加ありがとうございました。
今年も無事終了することができたことを皆様に感謝申し上げます。
来年も多数の方のご参加をお待ちしております。

石川事務長 就任挨拶



開設時から、ほのぼの苑で看護師として、勤務して参

りましたが、この度、前菅原事務長の後任として、事務長の名を引き継ぐ事になりました石川秀子です。

平成八年に病院を辞め、老健施設の意味も分からず、ほのぼの苑へ迷い込んで来てしまった訳で、老健施設とは、病院と自宅の中間施設で、在宅復帰を目的としている施設だと本には書いてあります。しかし、開設当時の窓口で受ける相談は、病院を追い出されそう。かと言って、自宅では看る事も出来ず、老人ホームの空きはないと言った内容がほとんどのようでした。また老健施設に入苑すると医療保険は使えず、施設が十割負担している事なども知らずに、病状が安定されていない方を紹介される医師もいて、毎日が大変であったような気がします。

施設に於いては、介護報酬の締め付けで、さらに厳しいものになって来ております。

最近のニュースで、よく耳にする不正請求事件、介護保険施設などの倒産、また病院や施設への支払いが困難で滞納している方など様々な問題が現実起きて来ております。

そんな中、病院での緊急治療を終え、ほのぼの苑へ入苑され、数ヶ月リハビリを頑張られ、その後デイケアなどを利用していらっしゃる方やほのぼの苑に面会にいられた際に、自宅での介護方法をマスターされ、その後、自宅で訪問看護やヘルパーなどを利用されている方、またご家族が介護に疲れた時に、ほのぼの苑のショートステイを利用される方など経済的で無理のない在宅生活を送られている方々もいらつしやいます。

今後、新たに色々な政策が打ち出され、困惑する事も多いかと予測されますが、出来るだけ多くの介護保険サービスの情報を提供しながら、また皆様方からのご意見・ご要望にも耳を傾けながら、ほのぼの苑を利用して本当に良かったと思って頂けるよう、そして快適で心配のない生活が送れるように努力していく所存でございますので、前任菅原事務長同様、どうぞよろしくお願い致します。

照井看護科長 就任挨拶



皆さん、こんにちは。朝夕は多少ともしのぎやすくなりまし

たね。この度、ほのぼの苑看護科長に就任致しました照井 里沙（てるい りさ）と申します。

「ほのぼの苑」と聞いて皆さんはどんな印象・イメージを持ちますか？

私は字の如く、ゆったりとした雰囲気です。皆が微笑んでいるという印象を持っていました。正和会に就職し、四年。

初めは小玉医院で働かせて頂き、一昨年の七月よりほのぼの苑に配置転換となりました。それまで医療現場中心に働いてきました。私には介護老人保健施設という、介護・福祉中心の現場に戸惑いを覚えました。そんな時ふと考えた事は環境が変化しても対象は一人の温かい血の通った「人」であり、自分の看護観をしっかりとって仕事に従事していれば何かが見えてくると...

日々過ごす中で医療現場とは一味違った「人」の温かさに触れ、人と話す事の楽しさ、奥深さを知ることが出来ました。さらに時間の流れ方、感じ方が違うことに気が付きました。

ほのぼの苑は平均介護度4と非常に重度の方が入苑されており、その中で私たち看護師は介護や他の様々な職種のスツ

フと毎日、試行錯誤しながら頑張っています。入苑者の方一人一人がゆったりとした気持ちで安心して、その人らしく過ごして頂けるように、私たちは何事も諦めません。言葉にする事は簡単ですが、それを実行し、反省し、継続する事はとても大変です。職員一人一人が力を合わせ、湧き出てくるパワーはどここの施設にも負けない、とても輝く力となって、入苑者の方へ伝わって

くれるものと信じています。私は今まで以上に勉強に励み、様々な場所に足を運び、自分の目で確かめたり、五感を使って感じ、考え、新しい発想、新鮮さを周囲に吹き込んで行けるよう努力していきたいと思えます。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

最後に私はあまり個人的な容姿ではありません。ちよつと昔の片平なぎさに少し似ていると言われておりますので、見かけたら、お気軽にお声をかけて頂ければ幸いです。それと「なまり」は超一流、ほのぼの苑No.1なので、なまってる人がいたら、それは私です。

ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話をご紹介
するコーナーです。

ちよつとイイ話

～七月の業務日誌より～

七月三日

「私が入職してから初めて担当させて頂いた入苑者の方が自宅へ帰られました。玄関で見送る際には目に涙を浮かべておられ、ようやく退苑できた喜びと共に、在宅復帰後、無事に過ごすことが出来るよう充分にリハビリを行えたか、満足していただけたか、心配の念も湧いてきました。素晴らしい在宅生活を送っていただけるよう願っています。」



七月六日

今日はある入苑者の方が、少しずつリハビリの為に食堂まで車椅子を自操しておりました。少し大変そうだったので、「少し後を押していきますか?」と聞いてみると、「頑張ってみる」と言われました。私たちにとって食堂までの距離は遠くないと思いますが、その方にとってみればとても長い距離なのにと、とても感心させられました。



七月十九日

本日、食堂にてある入苑者の方がエプロンを片付けるのを手伝ってくれました。「ありがとうございます」と声をかけると「家族だもの」との答えが返ってきました。ふと自分を振り返り、私は入苑者の皆様に対し、家族のように接しているのだろうか?など深く考えさせられる一言でした。今後もこの一言を意識して入苑者の皆さんから家族みたいな職員と思つて頂けるような介護をしていきたいと思つて思いました。



七月二十二日

七月の誕生会が開かれたこともあり、ご家族の方の姿が多く見られました。会場からは楽しい笑い声や歌が聞こえてきて、参加していても、その雰囲気伝わってきて、こちらも温かい気持ちになりました。このあとも誕生会には職員、そしてご家族の協力でも思い出に残る時間を提供できればと思つてました。

七月二十八日

今日が入苑者の方が待ちに待った「正和会健康まつり」でした。普段買い物などされない入苑者の方が「おやつ券」を持つてにこやかに出店の品物を買う姿は忘れられません。来年のお祭りも入苑者の皆さんに楽しんで頂ける企画を考えていきたいと思つています。今年の祭りは、参加された入苑者の方の心の中心に熱く刻まれたと思つています。

ほのぼ農園物語

プロジェクトN 佐藤です。厳しい暑さが続いています。ジャンボカボチャの成長具合ですが、段々と大きくなってはいるものの、まだ拳一握り程度の大きさであります。おそらく今月初旬の台風や悪天候に対しての対策がきつちりと出来ていないのが原因の一つに挙げられるかと思われます。現在、天気は快晴が続いているので、毎日の水遣りと日当たりの良さで残りの期間、もう一回り大きくしていったらと感じております。あとはカボチャの気力に期待を膨らませ・・・。
しかし私たちが気を抜かず頑張つていきます!



第十五回 家族会 議事録

第十五回 家族会は、平成十九年七月二十八日(土)、正和会 健康まつりと同時開催という形で行いました。多数のご家族の皆さんが入苑者の方々と一緒にお祭りを楽しんで頂けたと感じております。今回の議事録は、健康まつりの写真をご紹介します、その雰囲気をお届けしたいと思います。

八月の家族会は平成十九年八月二十六日に「ケアコンプレックス潟上 ふくろうこうのとり」の見学会を行う予定です。前事務局長 菅原 哲が施設長として、皆さんのお越しをお待ちしております。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加頂けるようご協力の程よろしくお願い申し上げます。



幸福

時々、現実逃避したくなる私は、今月初めに女友達三人で旅行に出掛けてきました。「いい加減」な関係の三人です。もちろん「いい」は「程良い」という意味です。

「ゆったり静に温泉」と思っていた私でしたが、友達の「夏だしね!」の一言に踊らされ、夏祭り本番ということもあり、台風五号と共に北上し、鰯ヶ沢経由で弘前のねぶたまつりを見てきました。

津軽の夏を彩る、優美で儼かな一大絵巻。表に勇壮な武者絵が配される鏡絵、裏には優美な女性の見送り絵が色鮮やかに描かれた扇ねぶたや人形ねぶたなど大小七十数台のねぶた。「ねぶたばやし」に響く太鼓、そして「ヤーヤードー」の掛け声と共に市内を練り歩きます。

「いい加減」な三人は三十から四十分もすれば「さっ!まつりも見たし、そろそろ呑みだね。」という方向に話が進みます。やっぱりおいしいお酒とお料理が一番ですね。年に数回行く旅行が私にとっては、一番の気分転換になっています。次回は紅葉を見ながら温泉旅行の予定です。次の楽しみがあるから仕事も頑張ろうと思えるのだと思っています。

ちょっとしたきっかけで目にした本の中に、人生は思うようにはいかないものである。だが人生を楽しむ生きる方法は・・・それは現在を楽しむ姿勢を持つことだと思っ

ている。現在いかなる状況であれ、その与えられた条件の中で「自分は幸福だ」、「人生は楽しい」と言える状態を作ることだ。その秘策は「全てを肯定し、感謝し、プラス発想をする」ことである。と書いてありました。簡単に言うけど難しい事だと思いつつも、一つずつそんな状態を作っていくかと思えます。毎年この時期に頂く鶯草を見ながら、うるさいほどの蝉の声を聞いて、夏を感じている今日この頃です。

ポツリと一言

お盆は全国的に記録的猛暑が続き、外泊された入苑者の方々も大変だったのではないかと思います。歩く人の姿も非常に少なく、この時期に健康まつりが行われていたら、暑さで参加する人が少なかったのではと思います。小雨の降る中での開催でしたが、時間が経過するにつれて、天候も回復し、参加する方も徐々に増え、盛り上がりを見せました。来年、花火が行われるかわかりませんが、今年の健康まつりは成功に終わったと思います。

発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央